

## 平成 22 年度人権教育セミナー実施要項

- 1 目的 人権教育を推進するために、実践につながる理論や取組について研修し、学校、園・所及び地域での指導力の向上に役立てる。
- 2 主催 高知県心の教育センター
- 3 対象 国・公・私立幼稚園教職員、保育所職員、国・公・私立小・中学校教職員、公・私立高等学校教職員、国・公・私立特別支援学校教職員
- 4 定員 100名までとする（ただし第4講座については、50名までとする）
- 5 日程

【第1講座】 7月27日（火）「高齢者と人権」 高知県教育センター分館（高知市大原町132）  
共催 社会福祉法人 高知県社会福祉協議会

9:00 9:30 12:30 13:30 17:00

受付	開 会	【ディスカッション】	昼 食	【演習】	閉 会
		「高齢者の人権を考えよう」 高知県ボランティア・NPOセンター 間 章 所長		「高齢者と人権の授業づくり」 高知県ボランティア・NPOセンター 間 章 所長	

\*「高齢者と人権」の取組に詳しい高知県ボランティア NPO センターと共催で実施する。今年度も、福祉の現場で活躍されている方を招いてのフリップトークと、授業づくりの演習を行い、実践に生かせる内容となっている。

【第2講座】 8月6日（金）「外国人と人権」 高知県教育センター分館（高知市大原町132）

9:00 9:30 12:30 13:30 17:00

受付	開 会	【講演】	昼 食	【演習】	閉 会
		「国際的視野で考える人権教育 ～ESD(持続発展教育)と授業改革」 プール学院大学 国際文化学部 岡崎 裕 准教授		『私たち』の授業を再評価する ～国際理解における『地域』の持つ 意味～ プール学院大学 国際文化学部 岡崎 裕 准教授 高知県心の教育センター	

\*岡崎 裕：現代の国際社会における理想を教育活動を通していかに実現していくかということを大学で教鞭をとられている。国際理解教育を人権教育の視点で講演していただける他、学校における授業実践を紹介していただける。

【第3講座】 8月10日(火)「女性と人権」

高知青少年の家(いの町天王北1-14)

9:00 9:30

12:30 13:30

17:00

受付	開 会	【講演】 「デートDVとジェンダー～若もの世代に氾濫する新しいメディアの影響～」	昼 食	【演習】 「暴力防止について考える～私たちにできることを通して～」	閉 会
		大阪府立男女共同参画・青少年センター カウンセラー 日本DV防止・情報センター 運営委員 川喜田好恵		高知県心の教育センター	

\*川喜田好恵:大阪府立女性総合センターの設立にかかわり、現在は関西地域の大学等で、女性学、ジェンダー論、女性の人権等の講師として活躍されているかたわら、全国の女性センターの相談事業のスーパーヴィジョン、自己表現トレーニング、ドメスティックバイオレンス防止などの活動を行っている。

【第4講座】 8月11日(水)「障害者と人権」

高知県教育センター分館(高知市大原町132)

9:00 9:30

12:30 13:30

17:00

受付	開 会	【講義・演習1】 「私から始まるエンパワメント～知的・精神・発達障害者との共生から多様性重視の教育を考える～」	昼 食	【講義・演習2】 「私から始まるエンパワメント～知的・精神・発達障害者との共生から多様性重視の教育を考える～」	閉 会
		立命館大学生存学研究センター・リサーチアシスタント 梁陽日(ヤン・ヤンイル)		立命館大学生存学研究センター・リサーチアシスタント 梁陽日(ヤン・ヤンイル)	

\*梁陽日:公立学校の教員や大阪市発達障害支援センターでのスーパーバイザーとしての経験があり、教育臨床や参加体験型学習の推進者養成を目的としたワークショップの講師としても実績がある。エンパワメントと共生の視点から、社会の在り方を考えることができる話と、演習をしていた。

【第5講座】 8月13日(金)「HIV感染者等と人権」

高知県教育センター本館(高知市大津181)

9:00 9:30

12:30 13:30

17:00

受付	開 会	【講演】 「ハンセン病～今、私たちにできること～」	昼 食	【演習】 「ハンセン病回復者と人権の授業の在り方」	閉 会
		字幕制作ディレクター 金正美		高知県心の教育センター	

\*金正美:「しがまっこ溶けた」の著者として知られる。在日三世の自らとハンセン病回復者の詩人と心の交流について単にハンセン病の理解に留まらず、人間の持つ偏見やそれを克服する愛情の素晴らしさについて語っていただける。

【第6講座】 8月19日(木)「子どもと人権」

高知県教育センター本館(高知市大津181)

9:00 9:30

12:30 13:30

17:00

受付	開 会	【パネルディスカッション】 「子どもが生き生きする学校づくり～いじめ・不登校の未然防止、児童生徒の学校復帰をめざして～」	昼 食	【講義・演習】 「心を開いて、いじめ・不登校に立ち向かう」	閉 会
		パネラー: 大阪府松原市立松原第七中学校 深美隆司 教諭 土佐市教育研究所 山崎康祐 主任 香南市立赤岡中学校 岡村裕子 教諭		大阪府松原市立松原第七中学校 深美隆司 教諭	

\* 深美隆司：文科省研究開発学校の指定（2007～2009年度）の中心的役割を担い、不登校生等への支援と、いじめ・不登校等の未然防止のための授業づくりに取り組んでいる。昨年度は、日本教育カウンセリング学会での模擬授業、沖縄県や高知県等で研修・講演を重ねており、実践に基づく話と、演習をしてくれる。

【第7講座】 8月23日(月)「同和問題と人権」 高知県教育センター分館（高知市大原町132）

9:00 9:30

12:30 13:30

17:00

受 付	開 会	【講演】	昼 食	【演習】	閉 会
		「カムイ伝から部落史を読む」 大阪教育大学教職教育研究開発センター 教授 中尾健次		「部落史学習の授業づくり～近現代 の歴史を紐解く～」 高知県心の教育センター	

\* 中尾健次：被差別民に焦点をあてた多くの著書では、「民衆の歴史」を綴り、その視点からわたしたちの社会を見つめ、今ある差別問題に向き合う手がかりを示してくれている。また、今話題の「カムイ伝」の概論、人物論を部落史の視点から読み解くことによって、近世の差別観念についての新たな方向性を学ぶことができる。

## 6 申込方法

別紙様式Ⅱにより取りまとめ、下記の流れで教育センター所長あて申し込んでください。  
(別紙様式Ⅱは、教育センターのホームページ上からダウンロードしてご活用ください。)

- ◎ 市町村（学校組合・中学校組合）立学校長、幼稚園長 → 市町村（学校組合・中学校組合）教育長  
〈6/11（金）までに〉  
→ 教育センター所長 〈6/18（金）までに〉
- ◎ 公立保育所長→市町村保育担当課長 → 教育センター所長 〈6/18（金）までに〉  
〈6/11（金）までに〉
- ◎ 県・国・私立学校長・私立幼稚園長 → 教育センター所長 〈6/18（金）までに〉

7 決定通知 受講決定者を7月2日（金）までに市町村保育担当課長・市町村（学校組合・中学校組合）教育長、県・国・私立学校長・幼稚園長あて通知します。

8 旅費 この研修には、配当外旅費の支給はありません。

9 その他 教育センター分館の駐車場は限りがあり駐車できない場合があります。  
駐車状況によっては、研修終了まで車を出せないことがありますので、予め御了承ください。

担 当 者

高知県心の教育センター 指導主事 山岡 綾  
チーフ（心の教育担当）北中加乃

TEL 088-833-2932 FAX 088-833-2935  
E-mail aya\_yamaoka@ken4.pref.kochi.lg.jp